

# 4年連続シード権獲得

往路10位 復路4位 総合8位 2年連続学生3大駅伝出場決定



復路 ゴールする石丸選手



往路 ゴールする野沢選手

全員でつなぐ魂の襷  
感動をありがとう!!

## 創大スポーツ

2023年(令和5年)1月3日(火)

### 第99回 箱根駅伝号外

【発行】創価大学企画広報課  
〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236 TEL042-691-9442

**第99回東京箱根間往復大学駅伝競走**  
1月2日8時、快晴・気温5℃の条件の中、新春の光を浴びて東京・大手町讀賣新聞社前を20校と関東学生連合チームの21選手が一斉にスタート。  
昨年、恒例の夏合宿で一人一人が精神的にも肉体的にもギリギリまで追い込んで蓄積した力を秋のトラック競技で発揮。ほとんどの選手が次々と自己記録を超える結果は箱根への期待を抱かせた。  
10月「出雲全日本大学選抜駅伝競走」で6位、11月「秩父宮賜杯全日本大学駅伝対校選手権大会」5位と調子を上げてきた。3大駅伝の中で個人の走破距離としては一番長い大会で上位を目指して疾走、往路こそ10位とやや出遅れたがそこは強豪校の証、復路で盛り返し総合8位で4年連続シード権を獲得した。  
2強の一角崩しはならなかったものの、選手全員が持つ力を十分に発揮、箱根という目に見えない重圧を感じさせない走り、来年の100回記念大会に向けて更なる高みを目指す。

1位	駒澤大学	10時間47分11秒
2位	中央大学	10時間48分53秒
3位	青山学院大学	10時間54分25秒
4位	國學院大学	10時間55分01秒
5位	順天堂大学	10時間55分18秒
6位	早稲田大学	10時間55分21秒
7位	法政大学	10時間55分28秒
8位	創価大学	10時間55分55秒
9位	城西大学	10時間58分22秒
10位	東洋大学	10時間58分26秒
(以上シード権獲得)		
11位	東京国際大学	10時間59分58秒
12位	明治大学	11時間01分37秒
13位	帝京大学	11時間03分29秒
14位	山梨学院大学	11時間04分02秒
15位	東海大学	11時間06分02秒
16位	大東文化大学	11時間06分08秒
17位	日本体育大学	11時間06分32秒
18位	立教大学	11時間10分38秒
19位	国士舘大学	11時間13分56秒
20位	専修大学	11時間19分28秒
OP	関東学生連合	11時間17分13秒

【選手写真提供：「©KGR」】

5区 小田原～箱根 20.8km | 4区 平塚～小田原 20.9km | 3区 戸塚～平塚 21.4km | 2区 鶴見～戸塚 23.1km | 1区 大手町～鶴見 21.3km

**野沢 悠真**  
経済学部4年 富城出身 利府高校

1時間13分26秒 区間順位 13位  
レースの前半は良いペースで走っていましたが、中盤から身体が動かず、悔しいレースでした。コンディションづくり、走路の雰囲気や初めての良い経験にでした。山の頂上付近は中継点との気温差が大きいため対応できず、小瀬園すぎで残り3キロの登りが一番つらく監督から声をかけられフォームを整えることができました。今回の経験を活かして来年また山登りを走れるように鍛えます。結果を挽回できるように頑張ります。

**鳴津 雄大**  
文学部4年 東京都出身 荏葉総合高校

1時間02分20秒 区間順位 8位  
3週間前に足をひねり残り5キロは辛かったです。振り返ると長いとも短いとも感じる5年間でした。1回目から自分らしい走りを見ることができたのが大きかったです。競技者としても人としても成長できました。チームの伸び幅、応援の大きさは他よりもすごい。監督の「この5年間を思い出し」の言葉、マネージャーの「箱根のヒーローになるんだよ!」の言葉が一番心に響きました。皆さんに5年間分の感謝を伝えたいです。

**山森 龍暁**  
経済学部3年 福井県出身 鯖江高校

1時間02分58秒 区間順位 14位  
初の箱根駅伝、後半は楽しさも感じられ次につながる良い大会でした。給水地点で同期のメンバーからの一言でさらに力が出せました。良い流れで次に繋ぎたいとの思いで襷を受け取りました。きつい時も沿道からの声援で「もう少し」と頑張ることができました。来年は最上級生になります。現在の4年生のような居るだけで安心できる先輩、結果を出せる先輩になりたいです。応援のおかげで最後まで力を出し切ることができました。

**ファイリツプ・ムルワ**  
経済学部4年 ケニア出身 手名ボーイズ高校

1時間07分29秒 区間順位 6位  
今日はコンディションが良かったです。昨年は区間2位だったから6位は悔しかったです。山森選手に襷を渡したとき、ファイトと声をかけました。後半少しペースが落ちてしまいました。最後の箱根駅伝だったからこそ多くの思いがあり、昨日までベストを尽くすと決めてきました。沿道の応援が力になり、頑張ることができました。応援やサポートに感謝します。これからも留学生力みな選手や他の選手の応援をお願いします。

**横山 魁哉**  
経済学部4年 静岡県出身 島田高校

1時間03分02秒 区間順位 5位  
最初で最後の箱根駅伝、楽しみながら走ることができました。スローペースになり有利になったと思いましたが、力を耐え、良い形で下れようという思いを走れなかった4年生の分まで走ろうと思っていました。恩師の先生、家族、駅伝部メンバーの沿道の応援が力になりました。努力を続ければ結果に繋がることを走り意識しました。

**石丸 惇那**  
経済学部1年 鹿兒島出身 出水中央高校

1時間11分15秒 区間順位 15位  
4つ順位を落としました。前半思った以上のペースで15キロからの走りが難しくなりました。「4年生や先輩が繋いだ襷だから一つでも順位を上げてゴールをするよ」との監督の言葉が心に残っています。ずっと「創価かんばれ」の声援が力になりました。主力だった葛西さんも鳴津さんのような選手になります。また緒方選手は笑顔で襷を繋いでくれました。4年生が抜けた分、自分たちが成長して、強いチームを目指します。

**緒方 貴典**  
教育学部4年 熊本県出身 熊本工業高校

1時間08分23秒 区間順位 2位  
箱根は最高の駅伝だと思いました。自分のリズムを意識した結果、途中から3位集団を引っ張ることになりガンガン行って襷を渡れさせようと思ってきました。石丸選手に襷を渡す時「楽しんでこい!」と声をかけました。監督から「最後の箱根だから全部出してこい!」の言葉が力になりました。最後の学年ミーティングで4年生の想いを聞き、走れない彼らの分も走ってほしいなと思いました。応援ありがとうございました!

**桑田 大輔**  
文学部3年 鳥取県出身 八頭高校

1時間05分07秒 区間順位 9位  
後半6キロは走り切るのが精一杯でした。後半勝負と監督が話しており、それを意識して前を走って走りました。葛西さんも懸命の走りで襷を渡してくれました。緒方さんに渡せばとの思いで力を振り絞りました。往路10位は不安でしたが、先輩方が順位を上げてくると思っていました。今年は4年生中心のチームのため来年は一からチーム作りになり、今年のようなチームを作っていきたいです。今年最高の1年を過ごすことができました。

**葛西 潤**  
文学部4年 愛知県出身 関西創価高校

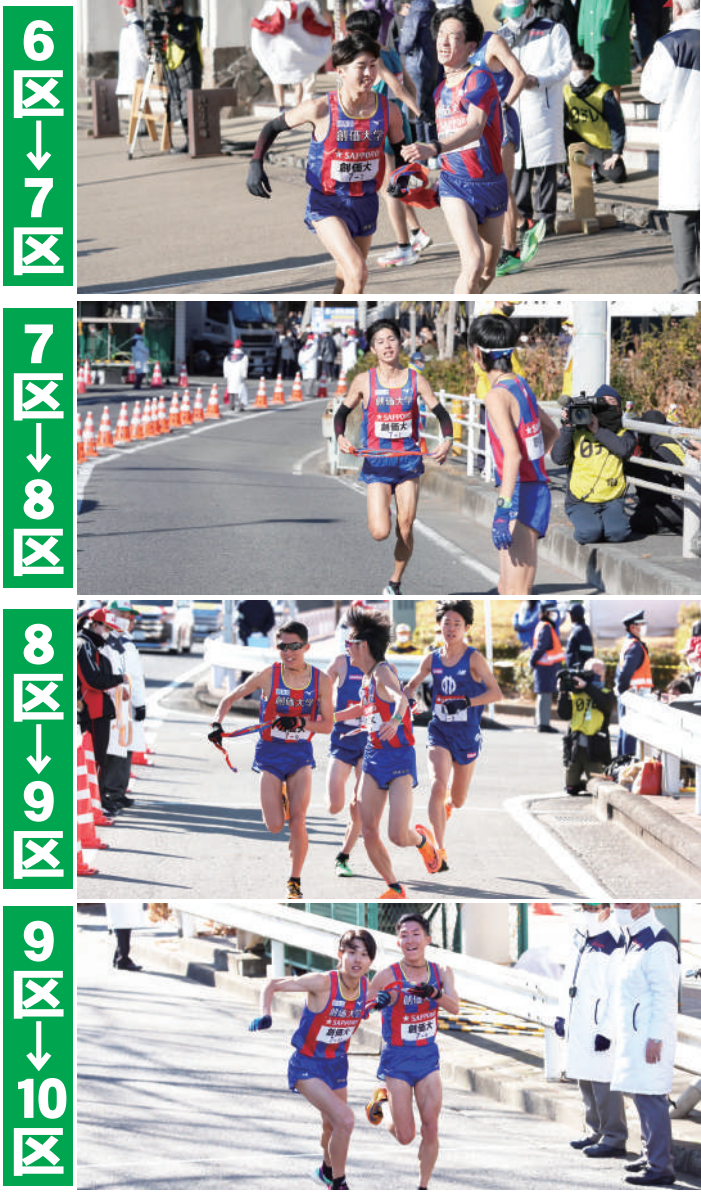
1時間02分43秒 区間順位 1位  
最後の箱根は楽しく走れ、後輩に良い流れで襷を渡せました。怪我が多くそれでも走り切れたのはたくさんの応援を頂いたおかげです。入学時からチームの期待を感じ重圧でしたが、期待を力に頑張りました。1年間で一番たくさんの方に応援してもらえるのが箱根。区間賞という形で恩返しできて満足です。監督から「一番苦しんできた分、力を出し切ってこい!」との声で力を出せました。高校、大学と多くの応援を頂き感謝しています。

**濱野 将基**  
法学部4年 神奈川県出身 佐久長聖高校

59分12秒 区間順位 4位  
4年生で挽回すれば4位以上狙えると思いき、順位は気にしていませんでした。最後の箱根駅伝、区間賞を目標に臨みました。登りを耐え、良い形で下れましたが、力を使いきったラスト3キロで監督から「区間上位で走れる」と声をかけてもらい、最後に力を振り絞りました。今回スタートラインに立て走り切ることができたのは皆さんの応援のおかげです。初めて有観客でたくさんの応援をいただき感謝しています。ありがとうございました。

# 217.1km 箱根路につないだ創大魂

世界から 日本全国から 応援ありがとうございます。



### 熱く力強い創大らしい走りを

「創大魂心強さの証明」とのテーマを掲げ、選



**緒方貴典主将**

手・スタッフが丸ごと箱根路に挑み、熱く力強い走りがあったと思います。皆さんの応援、本意にありがとうございます。

来年の100回大会では、後輩たちが新たな歴史を築いてくれると思います。引き続き創価大学駅伝部への応援をよろしくお願いします。

### 2年連続三大大会へ

第99回箱根駅伝を無事に走り抜くことができました。



**瀬上雄然総監督**

苦しいレース展開ではありますが、持ち前の負けじ魂を選手全員が振り絞って、シード権を獲得できました。

この結果をもって、2年連続3大会出場決定でき、嬉しく思います。

### 100回大会で優勝争いするチームへ

沿道やテレビから熱い応援をありがとうございました。今回の目標である総合優勝はできませんでした。選手、スタッフ全員の総合力で、総合8位、4年連続シード権獲得という結果を出すことができました。

4年連続シード権獲得、2年連続3大会出場決定の結果は、日頃から支援してくださる皆様のおかげです。心から御礼申し上げます。本意にありがとうございます。これからも変わらぬ応援をよろしくお願いします。

往路、復路共に、新しい力の台頭もあり、来年の100回大会へむけて優勝争いをする戦力がみえる結果を残すことができました。

目まぐるしいレース展開の中にあつて、総合8位との結果を残してくれた選手たち、出走した選手を陰に傷にサポートしてくれた部員、マネージャー、吉田の頭張りについています。ここからまた来年に向けて、全員で3大会で優勝争いするチームを目指していきます。

### 選手たちの走りに感動

往路10位、総合8位、そして4年連続シード権の獲得。



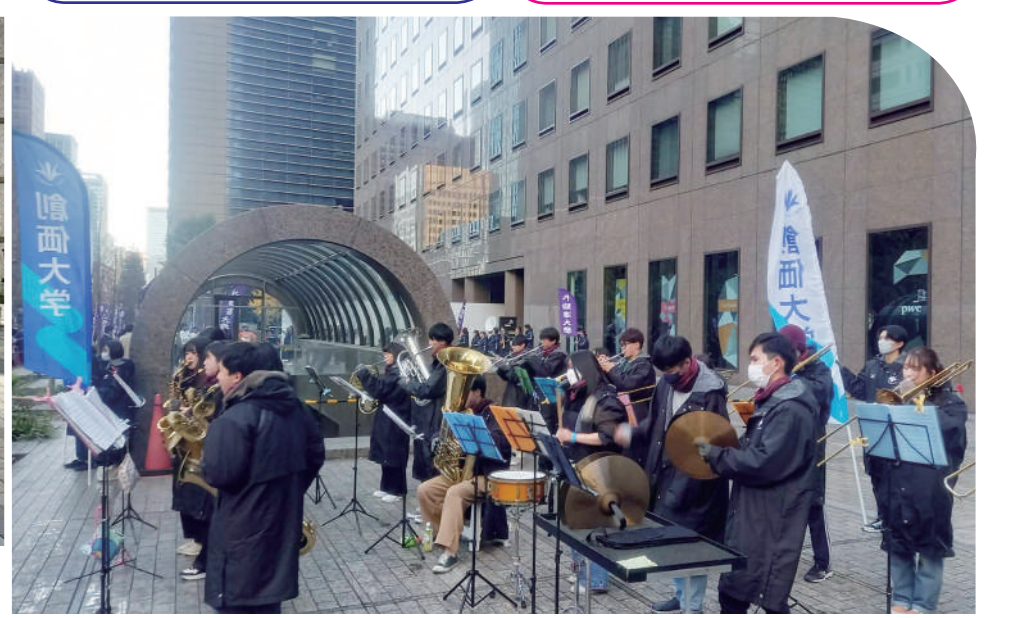
**鈴木将史学長**

大変におめでとうございませう。一つでも順位をあげようと、懸命に走り抜く選手たちの姿に胸が熱くなりました。2日間サポートにあられた駅伝部、関係者の皆様、大変にお疲れ様でした。多くの感動を本当にありがとうございました。全国、全世界で応援していただいた皆様に心より感謝申し上げます。

### 新たな歴史を築いた

選手の皆様へ、この2日間の大激走、大変にお疲れ様でした。また、選手を陰で支えた控えの選手、スタッフの皆様も本当にお疲れ様でした。皆の思いの詰まった襷をかけ、一人一人が魂を込めて走り抜き、4年連続シード権獲得という新たな歴史を築いてくれました。卒業生をはじめ、全国、全世界の応援をしてくださった皆様、本意にありがとうございます。

また、選手を陰で支えた控えの選手、スタッフの皆様も本当にお疲れ様でした。皆の思いの詰まった襷をかけ、一人一人が魂を込めて走り抜き、4年連続シード権獲得という新たな歴史を築いてくれました。卒業生をはじめ、全国、全世界の応援をしてくださった皆様、本意にありがとうございます。



## 強豪校として 実力発揮

往路は予想外の結果となった今年の箱根。思うようなレース展開にならず苦しい中でも粘り切ってシード圏内の10位でテープを切った。復路は往路のうっ憤を晴らすような痛快なレース展開で6区から一気に順位を上げて一時は3位争いまで躍進したが、最後は力尽きて総合8位となった。

今回は沿道の応援も復活、その声援を力に選手は全力を尽くした。その走りはすべての人に感動を与えてくれた。そして進化を続ける駅伝部に惜しめない拍手と賛辞を贈ろう。

## 戦評

レースの流れを左右する1区、横山は終始2位集団でスタートの機をうかがう。19区で先頭の学連連抜・新田のスピードが鈍ったところへ各校が一気に差をつける。横山も懸命に追いつき5区でムルワに襷を託す。各校のエースが揃った2区でムルワは後半粘って5位のまま3区へ。山森は必死に前を追うもなかなか差は詰まらず終盤追い上げを許しトップと2分14秒差6位で4区エース嶋津へ。嶋津も前回の区間賞の意地を見せて7位で1年生野沢へ。野沢はすぐに前の早稲田に並び山登りに入るが気温が下がったコンディションに苦戦。順位をさげ下げて10位で往路を終えた。

シード権がかかる復路、9位城西大と8秒差で濱野がスタート。一つ順位を上げて9位で小瀬園前を通過。さらにキープを上げて20・5区で一気に6位まで進出。そして7区葛西へ。葛西は2・8区で法政を捕らえて5位に上がる。この復路は法政、順天堂と並走して前に迫り、5区付近で早稲田、法政、順天堂、國學院の5校で5位争いに加わる。國學院は4位最終区凡丸へ襷を渡す。3位から8位まで接戦の中、1年生のワレッシュナ走りで大手を目指す。しかし後半スピードが落ちて結果8位でゴール。

往路の遅れを復路で取り返したチームが次に狙うは100回記念大会での総合優勝。

今年も感動と勇気をもらいありがとうございました!!